

大洲市立博物館報

第24号
〒795-0054
愛媛県大洲市中村618-1
大洲市立博物館
TEL&FAX (0893)24-4107

大切なもの、大切なことを、次の世代に遺すために

館長 大野弘玄

令和5年度が始まり、早くも半年が経ちました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、私たちの生活の様子は大きく変わってきました。大洲市立博物館は、そんな新しい時代のニーズに合った運営を心掛けてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、植物学者牧野富太郎氏をモデルにした連続テレビ小説「らんまん」をご覧になった方も多数いらっしゃるのではないでしょうか。たぐさんの印象深いシーンの中で、こんなことがありました。

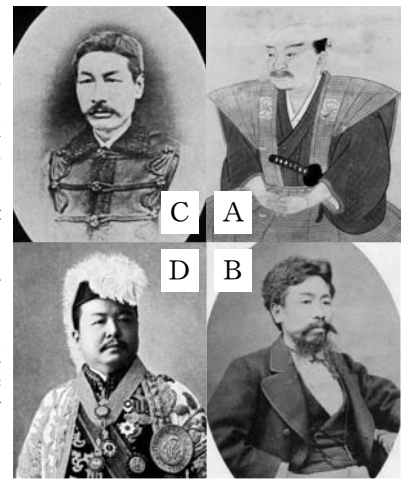
『関東大震災により建物は崩壊、火の手が迫る中、榎野万太郎の家族みんなが植物標本を背負って逃げているとき、役人が「荷物は捨てて逃げろ。」と執拗に迫ります。万太郎は、「捨てん。これは、この先の世に遺すもんじゃ！」と言いつち放ちます。』この精神こそが、博物館の使命の一つ、資料の収集・保管です。

皆様にとって、後の世に遺したい宝物は、何ですか。形としてあるものも

あれば、そうでないもの、面々と受け継がれてきた風習や考え方もありますね。個人として手元に置いておきたいものもあれば、広くたくさんの人に見てもらいたい、知ってもらいたいものもあることでしょう。今年度も当館には、絵画や漢詩の掛け軸、彫塑等の芸術作品、古文書や古写真、研究冊子などたくさん宝物が届きました。

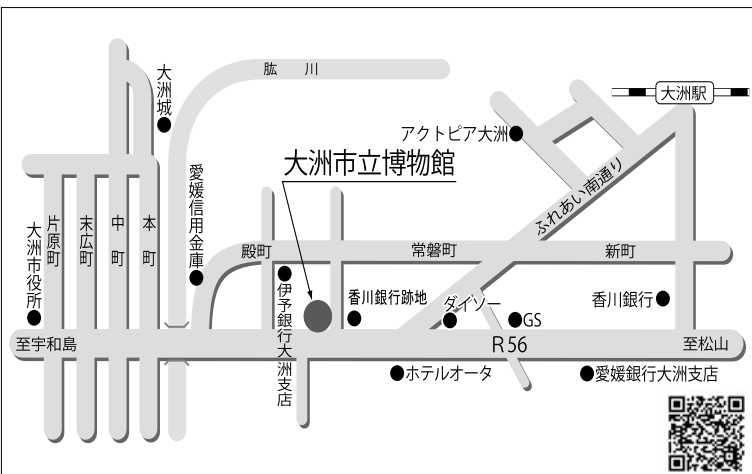
昨年度、大洲市が「世界の持続可能な観光地の文化・伝統保全部門で世界一」となりました。これは、旧城下町の空き家を活用して町並みを保全し、観光客を誘致し、経済を活性化するという取組ですが、言わばピンチをチャンスに変えたすばらしい事例の一つです。こういった何かの契機に皆様も財産を見直し、それぞれの価値に再び焦点を当ててみませんか。当館は、そんな宝物の保存・活用に協力してまいります。

また、大洲市にゆかりのあるこれらの人物をご存じですか？



Aは日本陽明学の祖、中江藤樹。Bは日本初の電信実験を成功させ、シーボルトに師事した蘭学者、三瀬諸淵。Cは幕府の家臣で、五稜郭を設計した、武田斐三郎。Dはタイの近代化に貢献した、政尾藤吉。四人とも江戸〜大正期に活躍された人物です。大洲市はこれまで優れた人物をたくさん輩出しただけでなく、美しい豊かな自然、長い歴史とともに魅力ある風土に息づいた人々の暮らしがあふれています。博物館では、こういった大洲のすばらしい情報を、市民の皆様を提供することにも力を入れています。展示活動の充実だけでなく、小学生を対象とした自然科学教室・歴史文化教室、市民の学習の場であるふるさと見聞講座、そして特に今年度は小・中学校の授業への協力（出前授業、資料の貸出等）を推進しています。

市民の皆様にも認められ、たくさん活用していただける博物館を目指してまいりますので、よろしく願いいたします。



開館時間 午前9時〜午後5時

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
12月29日〜1月3日

入館料 無料

各種展示

■4階展示室

【歴史文化常設展】

・大洲の歴史と文化

「大洲城」「中江藤樹」
「いろは丸」

【歴史文化特別展】

・1月31日～4月16日

近世和本の世界

・4月29日～9月3日

お殿様のたしなみ



・9月16日～1月14日

中江藤樹と川田雄琴



・1月30日～4月7日

大洲藩刀匠岡本家

■5階展示室

【自然科学常設展】

・大洲地方の自然と暮らし

化石・鉱物・岩石・動物の剥製・
植物の標本・民具資料など



■5階特別展示室

・6月3日～7月17日

梅林鶴子パッチワーク展



・8月1日～10月1日

レンガのある風景

はがきコンクール

秀作展



・10月18日～11月19日

藤樹まつり児童生徒書画作品展



・12月14日～1月10日

小学校理科自由研究作品展

・2月上旬～2月下旬

県展入選者（大洲市在住）作品展並
びに高等学校有志生徒作品展

・3月12日～4月28日

肱川風の博物館巡回展「くきつと鳥
が好きになる」日々を彩る野鳥展」

【特別展示室の利用案内】

絵画、写真、美術工芸品などの展示
会場として無料で利用できます。

大洲自然科学教室

◇昭和62年に子どもたちの科学する心
を育むために設置され、今年度末で

通算260回を数えます。

◇指導者は、大洲市理科同好会（小中
学校教員等）の方々です。

◇入会費は不要ですが、保険料やバス
代、入館料等が必要となります。

【活動内容】

・7月1日 中村河原

「開講式 肱川の自然観察」

大雨のため中止

・7月29日 大野ヶ原

「開講式 四国カル
スト（大野ヶ原の
自然観察）」

・8月12日～13日

大洲青少年交流の家

「夏の星空 流星と
土星・木星の観察」

・9月16日

長浜海岸・夢永海岸

「海辺の生き物や海
浜植物の観察・長
浜高校水族館」

・10月14日

佐田岬半島

「三崎半島の自
然観察・地質
学習」

・11月25日

新谷雲海展望台

「秋の植物や大
洲の気象・地
形の学習（親子活動）」

・1月13日 重信川河口・砥部方面

「野鳥や地質・化石の観察 閉講式」



大洲歴史文化教室

◇平成6年、子どもたちの郷土を愛する心を育むために設置。今年度末で通算177回を数えます。
◇指導者は小学校教員を中心とした歴史に詳しい方々です。
◇入会費は不要ですが、保険料は必要です。講座の内容により、バス代や入館料等が必要となります。

【活動内容】

- ・6月24日 宇和方面
「開講式・予市宇和町の歴史と文化（開明学校・民具館・卯之町の町並み・県歴史文化博物館）」
- ・7月22日 大洲市内
「肱川遊覧と大洲城、町並み散策（大洲城下町・肱川遊覧・大洲城等）」
- ・8月26日 肱北公民館調理室
「体験活動（和紙づくり）」



- ・9月9日 大洲市内
「長浜地域探訪（江湖・長浜大橋・富屋金兵衛邸・旧末永家住宅・長浜漁港・木蠟工場等）」



- ・10月28日 大洲市内
「新谷地域の歴史と文化（新谷公民館・新谷小学校・麟鳳閣・大恩寺等）」

- ・11月11日 新居浜方面
「新居浜の歴史と文化（マイントピア別子・別子銅山記念館）・閉講式」

ふるさと見聞講座

◇毎年6月に会員募集を行います。年度途中からでも入会できます。気軽にご参加ください。

◇受講料は無料です。ただし、現地研修や創作活動は実費となります。

◇貸切バスを利用する講座では、参加人数が制限されます。その都度申込みが必要です。希望者多数の場合は、申込み先着順で参加者を決定します。

【活動内容】

- ・6月8日 現地研修
「旧山陽道の宿場町（矢掛）と平櫛田中美術館」
- ・6月22日 講話
「牧野蘭太郎先生（植物の魅力語る）」



- ・9月26日 講話
（岡崎直司先生）
「坂本榮太郎氏を語る」



- ・10月19日 現地研修
（仙波香菜子先生）
「西予市宇和町 昭和のくらし」

- ・11月16日 現地学習（吉岡宏之先生）
「ボードウオッチング」

- ・12月（日時未定）体験学習
（松本三枝子先生）
「クリスマス&お正月の花飾り」

- ・1月18日 現地学習
（吉村久美子学芸員）
「あかがねミュージアム絵画鑑賞と三津浜煉瓦のお話」

大洲史談会

◇大洲史談会では、年間11回の例会を開催しています。多くの会員（現在187名）に支えられながら、地域の歴史や文化の継承に努めています。

【活動内容】

- ・4月15日 総会、記念講演
（寺内浩先生）
「藤原純友像の再検討」
- ・5月17日 現地研修
高知市方面
「牧野植物園、坂本龍馬記念館」



- ・6月10日 講話
（上田敏氏）
「大洲市内の小中学校が所蔵する美術品について」

- ・7月8日 講話（西山学氏）
「黒山城について」

- ・9月9日 講話（澄田恭一氏）
「大洲の能楽と歴史」

- ・10月7日 講話
（森永光彦氏）
「大八洲教会長 常磐井精戈の教化活動」

- ・11月11日 講話
（山田広志係長）
「浮世絵でたどる東海道」

- ・12月13日 清掃活動
「大洲城のボランティア清掃」

- ・1月14日 講話（五藤孝人氏）
「伊予の白山信仰Ⅱ」

- ・2月10日 講話（高嶋賢二学芸員）
「佐田岬半島ミュージアムについて」

- ・3月11日 現地研修
「佐田岬半島ミュージアム」

【会員募集】

会費は、年間二千円です。年度末に会誌「温古」をお届けします。希望される方は、大洲市立博物館までご連絡ください。



【館蔵資料紹介】

せきぶね かんまる せんめいがく
関船「渙丸」船名額 1面

縦47cm×78.5cm
(当館所蔵)



船名額とは、和船の船尾に掲げる船名を記した額です。この資料は、大洲藩の船手頭を勤めた大平家おおひらに伝来したものです。

表面には、中央に彫り込んだ「渙丸」の文字に黒漆が施され、その周

りは弁柄色で塗られています。裏面には艫矢倉とむやぐら(船尾まん中のデッキ)の上部に取り付けるための鉄金具が付けられています。

渙丸は、大洲藩主加藤家が参勤交代を行う際に、長浜から大坂まで藩主が乗船する御座船「駒手丸」に追従する関船の一つで、足軽が乗る船として利用されました。

また、支藩である新谷藩が参勤交代を行う際には貸し出されることもありました。

通常、渙丸は、他の大洲藩船と同じように肱川河口右岸の江湖えいこと呼ばれる入江に設けられた船囀場ふなむらばに停泊し、参勤交代の時には一番先に肱川河口に整列しました。

そして、参勤交代の船が出そろうと出発すると、渙丸はしばらくして参勤交代の大船団から外れ、帆を用いて自由に航行し、次の港である大洲領中島村大泊(現松山市中島町)に先着して、後から来る藩主たちの船団を待ち受ける役割を担いました。

今年度新たに収蔵した資料

【購入】

- 加藤泰候筆「月竹図・六字書」 1点
- 加藤文麗筆「布袋図」 1点
- 加藤泰衡筆「西王母図」 1点
- 若宮養徳筆「富士山図」 1点
- 若宮養徳筆「松旭図」 1点
- 泰行筆春乃山歌 1点
- 加藤泰濟筆「鷹ノ図」 1点
- 加藤廉之進(春秋)筆「五字一行書」 1点
- 加藤泰恒筆「蓬図」 1点
- 加藤文麗筆「鶏図」 1点
- 加藤文麗筆「牡丹図」 1点
- 加藤文麗筆「鍾馗図」 1点
- 加藤文麗筆「秋涼山水図」 1点
- 香渡晋筆「處世訓」 1点
- 香渡晋筆「二字書」 1点
- 高松保実香渡晋宛祝章 1点
- 宿茂徳隣筆「楼閣山水図」 1点

【寄贈】

- いろは丸模型(1/50) 1点
- 森本泰二郎氏版画 7点
- 今岡・河田製糸関連資料 一式
- 矢野政石漢詩書 3点
- 西村兵太郎ブロンズ像他 7点
- サカタ膳写版 1点
- 坂本榮太郎作品「ムクの実」他 2点
- 火縄銃用玉型・鉛玉 一式

貴重な資料をご寄贈いただきありがとうございます。



西村兵太郎ブロンズ像



坂本榮太郎作「ムクの実」